

春日学区住民交流施設整備事業 ～いつまでも住み慣れた地域で暮らしつづけるために～

■春日学区の取り組み



春日のまち自治・福祉・防災 三位一体で

- ・春日区民ふれあい広場
- ・春日総合防災訓練
- ・防災集会
- ・ミニケアサロン
- ・春日区民体育祭
- ・春日ふれあいもちつき大会
- ・春日のまち安心安全点検
- ・防災福祉地図

等



平成22年～「空き家」対策の取組を開始

(京都市地域連携型空き家流通促進事業)

空き家の
現地調査



■プロジェクトの目的

■背景

- ◆ 京都御苑と鴨川には生まれ、暮らしやすく、交通利便性が良く、子育て世帯を中心に人気が高い。
- ◆ 空き家も市場で流通する割合が高い（購入→除却→建替えが多い）。
- ◆ 新たに転入される世帯は、学区の歴史や生活文化を知る機会が少なく、地域コミュニティとの交流機会も限られている。
- ◆ 春日まちづくり委員会として、平成22年度から京都市地域連携型空き家流通促進事業に取り組んでいる。

春日校が御所南小学校と統合となり、建替え後は、これまでのような学区の様々な活動スペースが十分に確保できない。



①豊かな地域コミュニティの創造

学区で暮らす子どもたちが、地域の歴史や生活文化などを学び、地域の人と交わり、地域の活動に参加し、地域に愛着を持って生活することで、親世帯を含めて豊かな地域コミュニティの創造を目指します。

②学区民の交流づくり

これまで取り組んできた「福祉のまちづくり」のもと、地域の高齢者の憩いの場や子どもたちとの交流の場として空き家を活用することで、すべての学区民がいきいきと暮らせる地域づくりを目指します。

③春日の子どもたちの健やかな生長

地域の歴史に精通する会長、まちの大工さん、薬屋さんなど、様々な地域の方々が先生となって、地域の子どもたちを教育することによって、地域の子どもとして健やかな生長を育みます。

■プロジェクトの体制

《地域》
春日住民福祉
協議会

《空き家所有者》
圓通寺

《専門家》
京町家
居住支援者会議

《大学》
同志社女子大学

その他、春日学区
各種団体や
まちづくり団体等

■プロジェクトの目的

■整備した場所の活用プログラム

尼寺としての歴史や宿坊の素地が残る圓通寺の複数の空き家を、高齢者の生きがいづくりや地域の子どもたちとの交流の場、子どもたちの春日学区の歴史や生活文化を学ぶ場、社会に関心を持てる子どもを育てる場などとして活用する。



■具体的な活用イメージ

- ★各種教室（交通、健康、防犯、防災）のサテライトの場
（現在、月1回、春日デイケアセンターで開催）
- ★複数の町内会単位で高齢者の憩いの場を提供している
「グループサロン」の場
- ★0～3歳の乳幼児のいる親同士のふれあいの場
「にこにこサロン」の場
- ★子どもの教育や高齢者福祉に取り組む
まちづくり団体等の活動の場

■提案が実現することによる地域への波及効果

～これまで取り組んできた
三位一体のまちづくり～

自治

福祉

防災

空き家を活用した
交流の場づくり

あたたかい
地域コミュ
ニティ

お隣同志の
ふれあい

安全・安心
で住み続け
られる地域

■活用する空き家と整備イメージ



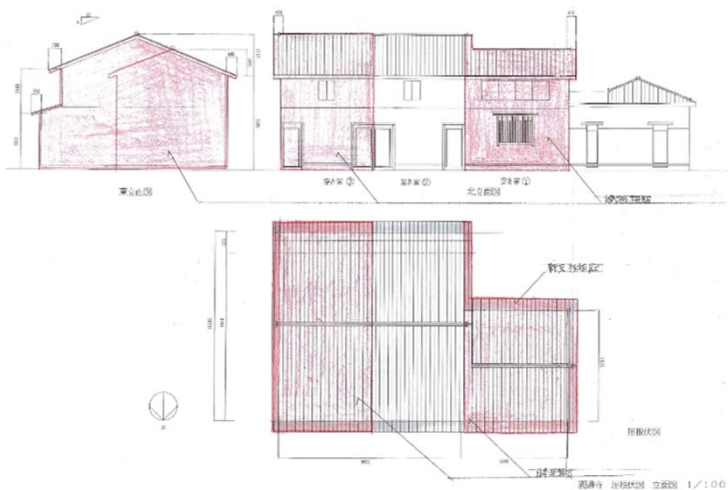
正門（竜宮門）



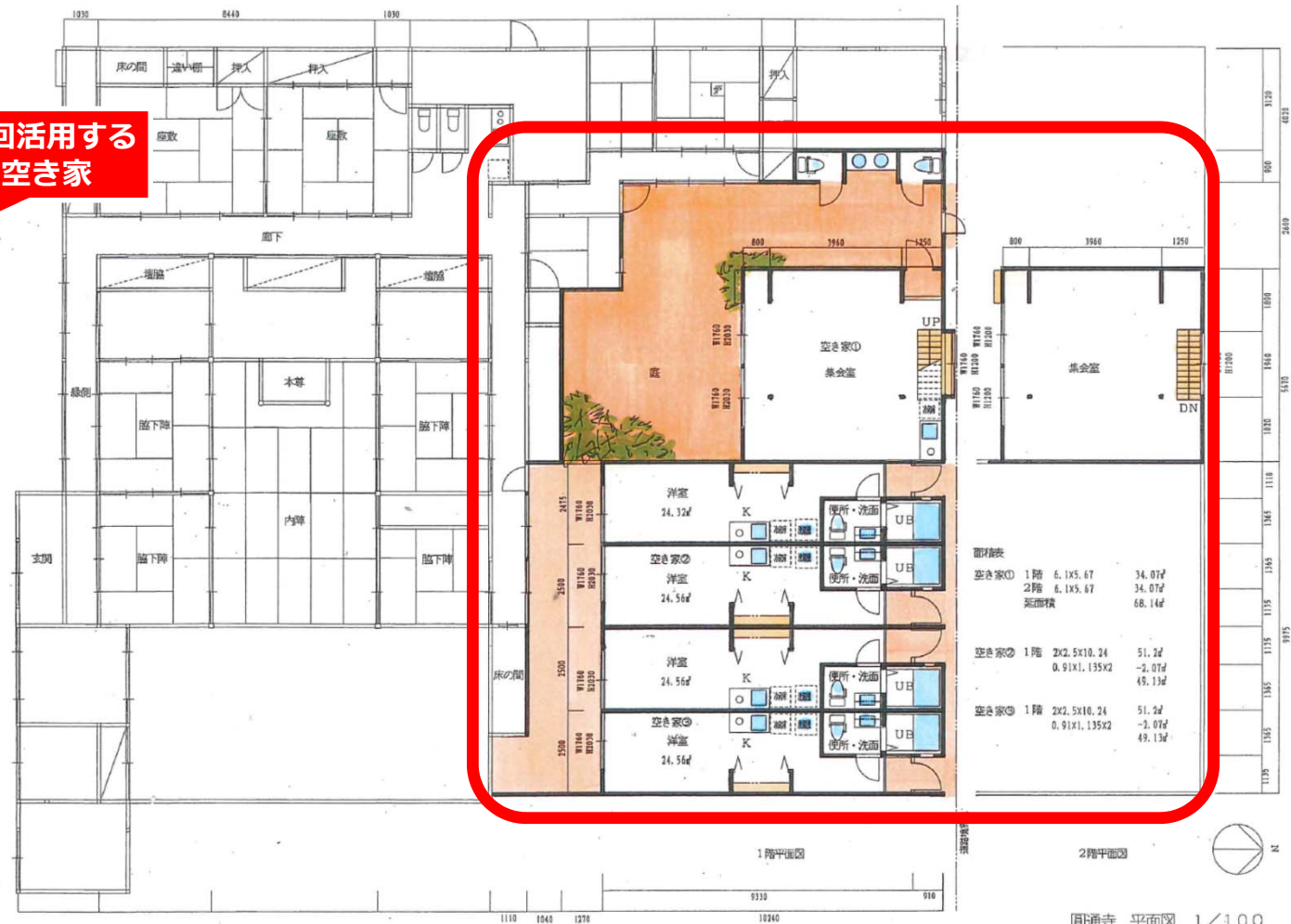
宿坊の素地



今回活用する
空き家



春日寺 宿坊計画 立面図 1/100



春日寺 平面図 1/100

■整備イメージ（パース）

